

# 平成27年度予算案の査定を終えて



名寄市長 加藤 剛士

平成27年度予算査定は、平成26年12月から平成27年1月にかけて実施し、平成27年2月18日に、平成27年度予算案を記者発表いたしました。

平成27年度予算は、総合計画後期計画を具現化すること等を目標とするとともに、国が打ち出した地方創生の施策を展開し、また「地方版総合戦略」での事業を組み立てることも念頭に編成いたしました。

平成27年度予算の主な事業をお知らせいたします。

主な事業の査定内容です

単位：千円

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
<b>合併10周年記念事業</b> 平成28年3月に、旧風連町と旧名寄市が合併し10周年を迎えます。地域の融和と一体感をより深めるとともに、本市のまちづくりに対して、市民参加意識のより一層の醸成を図るため、合併10周年を記念した事業を行います。 ・合併10周年記念式典 1,000 ・合併10周年記念フォーラムの開催 560 ・新カントリーサインの作成 316	要求額				1,876	平成18年3月の合併以来、「新名寄市」の創造に向けて、市民の皆様と一体となって取り組んでまいりました。この間、新名寄市を取り巻く状況も次第に変化してきています。特に昨年に話題になりました「消滅可能性のある自治体」については、危機感を募らせているところですので。合併10周年の節目を迎え、あらためて市民と協働のまちづくりを進める契機といたし、予算計上としました。
	査定額				1,876	
<b>地域おこし協力隊事業</b> 都市住民を地域に受け入れ、地域おこし活動の支援や住民の生活支援などの「地域協力活動」に従事してもらい、あわせてその定住・定着も図りながら、地域の活性化に貢献してもらいます。平成27年度では農業分野で1～2名を募集し委嘱します。	要求額				14,623	すでに平成26年度で農業分野において地域協力隊として活躍されている方が3名となりました。地域活性化の活動をしていただきながら、将来の就農に向けて取り組んでいってまいります。さらに実績を積み上げ、地域の活性化と新規就農者の確保を図るため、要求通りの査定としました。
	査定額				14,623	

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
<b>健康マイレージ事業</b> 市民が健康で安心できるまちを目指し、自分の健康に関心を持ち、自分にあった健康づくりに対する取り組みを支援します。 健康づくりメニューを行った市内在住の方が特典を受けられる施策を展開します。	要求額 550 ----- 査定額 550 ○実施				550	名寄市民全体の健康増進を図るため、特に若い世代も気軽に取り組める方策として、健康マイレージ事業を査定しました。健康的な生活習慣を動機づけることを目指し、継続的な事業として取り組んでいきます。
<b>子育て支援センター整備事業</b> 現在名寄市内では官民合わせて3カ所で「子育て支援センター」機能を設け、育児中の保護者の方の相談業務などを行っています。現況では、開所時間が短いことや、市内中心部での活動要望等があることから、親林館と南広場を活用した、子育て支援体制を構築することとしました。親林館を改修し、東保育所内にある子育て支援センター「さくらんぼ」を移転し、親子の交流の場としても活用します。	要求額 41,879 ----- 査定額 3,700 △一部見直し	16,353			25,526	市内中心部に子育て世代を誘導し、相談業務のほかにも、親子や子育て世帯間の相互交流を図ろうという事業です。現在の親林館を改修するため、設計費のみの計上とし、工事請負費や必要な備品購入費などは平成27年度の補正で対応することとしました。子育てコンシェルジュを配置する利用者支援事業とあわせて、より有効な事業を組み立てることとしました。
<b>利用者支援事業</b> 子育て世帯が、教育・保育施設や地域の子育て支援事業を円滑に利用できるよう、専門的に相談できる「子育てコンシェルジュ」を配置し、不安なく子育てができる環境づくりを進める事業です。	要求額 2,860 ----- 査定額 2,860 ○実施	1,370			1,490	国の子育て支援制度の拡充が追い風となり、事業の取り組みには好機であると判断しました。「名寄市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て支援センター整備による子育て支援の拠点づくりとともに、より有機的なつながりを持った事業展開を目指します。
<b>もっともち米プロジェクト事業</b> 本事業は、①もっともち米プロジェクト事業 ②原産地呼称管理制度事業 ③企業研修事業 の3事業から構成されています。 ①もっともち米プロジェクト事業では、平成27年度は中間年として、もち米文化をより強く発信していきます。②原産地呼称管理制度事業では、名産産ブランドの確立と海外への農産物輸出を目標とします。③企業研修事業では、もち米を扱う企業の社員研修のビジネスモデル化を目指します。	要求額 2,000 ----- 査定額 0 ★平成26年度補正で実施（地方創生先行型） 農産物ブランド確立事業費へ				2,000	国の平成26年度補正による地方創生先行型交付金事業を活用し、事業の内容を再精査し、平成26年度補正予算に前倒し計上することとしました。地域ブランドの確立を目指し、産業の発展、新たな雇用、ふるさとの元気につなげようという事業です。平成27年度ではもち米日本一ブランドの確立、原産地呼称制度委員会の創設そして実需者により密接な信頼関係を築き消費拡大を目指します。2,000千円の要求に対し、交付金を活用しながら事業を展開することとし、7,000千円の補正予算としました。

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
<b>ピヤシリスキー場整備事業（改修工事）</b> 名寄ピヤシリスキー場は、多くの市民の憩いの場とスポーツ振興の拠点の一つであるとともに、交流人口拡大のエリアとなっています。スキー場のリフトなどの施設設備については、設置後相当な年数が経過しているものがあり、平成26年度に引き続き、利用客の安心・安全に配慮した改修を実施します。	要求額 18,831 ----- 査定額 18,831 ○実施			16,530	2,301	スキー人口の減少や、施設の陳腐化などにより、名寄ピヤシリスキー場の経営は近年厳しい状況が続いています。しかしながら、他のスキー場では苦しいながらもアイデアで経営を立て直している事例もあり、大いに参考とすることがあります。名寄ピヤシリスキー場はレジャー施設の側面と、教育の面から体育施設としての側面があります。安全で、安心できる施設設備の提供は、市の責務であり、昨年度に引き続き、老朽箇所改修を中心に査定をいたしました。
<b>都市計画マスタープラン見直し事業</b> 名寄市都市計画マスタープランは、平成18年3月に策定されました。期間は平成18年から38年となっており、中間年の平成28年を見直し時期としています。平成28年の見直しにむけ、平成27年度ではデータ検証や、アンケートを実施し、企画検討、素案作成そして見直し原案作成までを実施します。	要求額 4,504 ----- 査定額 0 × ゼロ査定				4,504	名寄市都市計画マスタープランは、まちづくりの目標、将来像に関わる土地利用、都市施設などの地域別の方針を定めていくものであります。本来ならば、策定に向けて基礎的なデータ分析などを平成27年度で進めることとなりますが、国の総合戦略地方版の策定や、総合計画の策定着手が同様に平成27年度で予定されています。総合計画、総合戦略におけるデータ分析などの作業を優先し、これらを活用することで平成28年度に整合性を図りながら、都市計画マスタープランの策定を実施することとしました。

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
<b>市営住宅環境整備事業</b> 現有の公営住宅の総合的活用の手法として、公営住宅の居住水準の向上を図るため、老朽箇所の改修や公営住宅供給量の調整を行っています。公営住宅の長寿命化計画では、新北斗団地の全面的改善事業を実施しているほか、市営住宅環境整備事業として、下記の団地について計画的に整備を進めます。 ・ノースタウンなよろ団地（個別改善） 外壁・屋上防水・換気改善 127,000 ・風舞団地（個別改善） 外壁・屋根改修設計業務 3,000 ・西町団地（効果促進）住宅解体1棟 3,500	要求額 133,500 ----- 査定額 146,550 ○増額して実施	53,500 ----- 66,140	78,200 ----- 78,400		1,800 ----- 2,010	安心・安全で快適な公営住宅の供給を進めるため、現有の公営住宅の建て替えや全面的改善、また供給量の調整を実施し、取り組んでまいりました。全面的改善によって、公営住宅の長寿命化が図られ、長期的に維持管理コストの低減が見込まれます。北海道から工事に係る単価上昇が予算要求後に示されましたので、この分を上乗せし査定しました。 ・ノースタウンなよろ団地127,000→139,700 ・風舞団地 3,000 ・西町団地 3,500 → 3,850
<b>風連中央小学校・校舎屋内運動場改築事業</b> 名寄市内小中学校適正配置計画に基づき、風連中央小学校の敷地内に新校舎・屋内運動場などを建設する事業です。平成27年度では、耐力度調査と基本設計を実施します。 ・風連中央小学校校舎・屋内運動場耐力度調査委託料 6,000 ・風連中央小学校校舎・屋内運動場基本設計委託料 16,500	要求額 22,500 ----- 査定額 22,500 ○実施				22,500 ----- 22,500	風連中央小学校の校舎は昭和47年に建設され、名寄南小学校の完成後は、名寄市内で最も古い校舎となります。旧耐震設計基準による校舎であり、老朽化も著しく、また東風連小学校との統合も勘案し、新校舎、屋内運動場の建設を進めることといたしました。現在の予定では平成30年度の完成を目指しています。
<b>第53回全国中学校スキー大会開催地負担金</b> 平成27年度に、第53回全国中学校スキー大会が名寄市において開催される運びとなりました。本大会は、中学校教育の一環として、中学校生徒に広くスキー競技の機会を提供し、技能の向上・アマチュアスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な中学校生徒の育成と相互の親睦を図ることを目的に開催されています。大会準備から運営に至るまで、円滑な推進のため、開催地負担金を交付します。	要求額 2,000 ----- 査定額 1,700 △一部見直し				2,000 ----- 1,700	第52回全国中学校スキー大会は、青森県と秋田県でアルペン、ノルディック両種目が開催されましたが、名寄市におきましてはノルディック種目を開催することとなります。また、ノルディック種目によるジュニアオリンピックも平成29年3月に開催されますので、本市における冬季スポーツ振興に、弾みがつくものであります。これらの大会開催が円滑に進むように、別に競技タイムを計測するシステムの借上げ料も、計上しました（5,256千円）。大会負担金は、事業費を精査し一部見直しを行いました。

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
<b>大学図書館建設事業</b> 大学図書館の建設は、平成24年度に「大学図書館の基本構想・基本計画」を策定、平成25年度に基本設計、平成26年度に実施設計と進捗してきました。平成27年度から平成28年度の2カ年で工事を実施します。平成27年度は初年度にあたります。工事総額は2,774,750千円を予定しています。	要求額		749,100		83,325	平成18年の短期大学から4年制大学への再編においては、当時の財政問題などから大学図書館を新設することはできず、校舎の一部改修により、学内キャンパスに2カ所の図書館を設けることで対応してきました。図書館が分散していることのデメリットの解消や、大学の教育研究の核となる施設整備の必要性が、第三者評価の際にも指摘されており、平成24年度から大学図書館の建設に向け事業が進められ、平成27年度の着工となります。教育研究環境の充実、新設される社会保育学科の学生確保にも、大きな力となるものと考えています。
	832,425 ----- 査定額 832,425 ○実施		749,100		83,325	
<b>保健福祉学部再編事業</b> 保健福祉学部を再編し、新たに「社会保育学科」を設置します。これにより、今日的な課題に対応した現場でリーダーとなり得る保育者を養成する機能を強化し、他大学から先行して北海道・東北地域における学生確保の競争力の向上と、幼児保育・教育分野における研究力及び指導力の拡大を図ります。	要求額				45,084	保健福祉学部の再編につきましては、議会の特別委員会でご議論をいただき、平成27年2月10日及び12日に市民説明会を開催させていただきました。地方創生の議論の中では地方大学、特に公立大学の果たす役割は大きいものとされており、知の拠点として、また地域に密接に関わりをもつ公立大学としてどのような大学を目指すのか、市民の皆さんと議論しながら、学部の再編を進めてまいります。地方創生先行型として、平成26年度補正予算に計上し、より戦略的な位置づけを図ることとしました。補正予算額は、事務的経費などを積み上げ、59,535千円としました。
	45,084 ----- 査定額 0 ★平成26年度補正で実施（地方創生先行型） 名寄市立大学保健福祉学部再編事業へ				0	

事業名及び概要	事業費	財源内訳				査定内容
		国道支出金	市債	その他特財	一般財源	
<b>文化振興事業</b> 名寄市民文化センター大ホールEN-RAYが、平成27年度に開館します。これに伴い、平成27年4月から名寄市文化芸術振興条例も施行されます。従前からの関連予算と新規予算を統合し、EN-RAYを核とした文化芸術事業の充実を図ります。事業実施にあたっては、多方面から展開をしていきます。 ・文化芸術振興に係る関連団体への補助 ・文化芸術アドバイザーによる事業支援 ・文化芸術振興を側面から支援する事業 （審議会や企画委員会の開催、鑑賞バスツアーなど）	要求額 22,690				22,690	名寄市民文化センター大ホールEN-RAYは、名寄市のみならず道北圏域の文化芸術の拠点としての役割をもつものと考えています。日本のみならず国際的な芸術文化に触れる機会を提供すること、また、市民や周辺の地域における、自ら創造する芸術文化の発信地として、さらに既存の文化センターの機能とあわせ、生活に潤いをもたらす施設として、それぞれの側面から施設を運営していくことが重要です。平成27年度は開設初年度であり、運営の方向性が定まってくる年度でもあります。予算要求額から特定財源の状況や、実施者側の状況などを精査し、一部見直して予算査定しました。
	査定額 18,890 △一部見直し				18,890	
<b>認知症グループホーム居住費助成事業</b> 認知症グループホームの事業者が、費用負担が困難な低所得者に対し、名寄市が設定した居住費負担の軽減を行った場合、その軽減額を助成します。介護保険事業の地域支援事業・任意事業の活用により、市の財政負担を低減しながら、低所得層へのサービス受益者の拡充を図るものです。	要求額 2,738	1,600			1,138	認知症グループホームの入居においては、特別養護老人ホームや老人保健施設と異なり、介護保険で家賃、食費、光熱水費に対する助成の制度がありません。このため、費用の一部を市が助成することにより、入居サービスを受けることのできる対象者を拡充することができます。認知症対策は、高齢化社会において欠かせないものであり、この事業が、少しでも役立てばと考えました。
	査定額 2,738 ○実施	1,600			1,138	

